

2018年 阪南大学あべのハルカスキャンパス

公開講座

ハルカスアカデミー

プレジデントセミナー

受講料無料
先着100名

第1回

ハルカスアカデミー (科学研究費補助金研究成果還元事業)

平成30年

10月20日(土)

14:00~15:30



国際観光学部
森重 昌之

観光に向き合うためのガバナンスを考える -観光資源としての大阪地下鉄を事例に-

近年、訪日外国人旅行者数が急増し、昨年は2,869万人になりました。今後はリピーターが増えていくと思われていますが、大阪の魅力は大阪城や通天閣だけではありません。この講座では、「私たちの生活に身近な大阪地下鉄(Osaka Metro)も観光資源になる」という可能性を探りながら、大阪の魅力を発見し、磨きをかけていく方法について考えます。一方で、旅行者が増えることによって経済効果が期待できる反面、さまざまなトラブルが起こっていることも事実です。旅行者の増加を手放しに喜ぶのではなく、私たちが観光とどのように向き合えばよいか、その方法についても探っていきます。

第2回

ハルカスアカデミー

平成30年

11月24日(土)

※時間変更致しました。
17:00 ~ 18:30



流通学部
加藤 清孝

2020を前に、オリンピックと日本のスポーツを考えよう

とかくオリンピックでは、メダルの獲得だけに注目が集まりがちです。そんな社会的関心を反映してか、日本オリンピック委員会(JOC)は早々とこの6月、2020年東京オリンピックでの目標メダル獲得数を30と宣言しました。しかし、メダルにだけ目を向けることは、オリンピックが我々にもたらす正負様々な影響から目をそらすこととなります。スポーツは社会を映す鏡です。そして、オリンピックはその最たるものといえます。東京オリンピック開催を2年後に控え、この講義では、改めてオリンピック開催の意義と日本のスポーツの現状を、考えてみることにします。

第3回

ハルカスアカデミー

平成30年

12月 1日(土)

14:00~15:30



国際コミュニケーション学部
坪井 兵輔

映像ジャーナリズムの可能性~「声なき声」に寄り添う

メディアは社会の窓口です。中でも国民の「知る権利」を託されたジャーナリズムの役割は「第四の権力」として行政、司法、立法の三権を監視すること、そして社会の片隅に生きる声をあげられない人々に向き合い、背負われた問題を社会に伝え、問いかけることではないでしょうか。本講座ではジャーナリズムを担うマスメディアの中でもドキュメンタリーを通じ、今の時代が抱える社会問題を知り、解決に向けて尽力する人々の姿に触れる事で映像ジャーナリズムの可能性を考えます。

第4回

ハルカスアカデミー (科学研究費補助金研究成果還元事業)

平成31年

1月12日(土)

14:00~15:30



経済学部
浅野 敬一

トランプ政権と中小企業・ベンチャー

ドナルド・トランプ大統領は、就任以来、独特な経済政策を打ち出してきました。民主党とはもちろん、これまでの共和党とも異なる方向性は、まさにトランプの経済政策といえるでしょう。しかし、トランプ政権と中小企業やベンチャーとの関係については、ほとんど注目されていません。ここでは、トランプ政権のこれも独特な中小企業政策を検討します。日本の場合との比較も含めながら、社会や経済における中小企業やベンチャー企業の役割を考えていきましょう。

第5回

ハルカスアカデミー (科学研究費補助金研究成果還元事業)

平成31年

2月 9日(土)

14:00~15:30



経営情報学部
中條 良美

現代ビジネスにおける投資行動と価値評価

ビジネスと「お金」とは、切っても切れない関係にあります。本講義では、ビジネスに不可欠なお金が、どのような仕組みで増える(減る)のかを、分かりやすく解説します。そこでは、金利という言葉がカギとなります。私たちは日常的に価値の判断を求められていますが、実は価値を適切に把握するためには、金利の役割を正しく理解する必要があります。金利の動きを見据えて適切な投資を手掛けることが、お金を増やすうえで何よりも重要なのです。投資行動と価値評価の関係を学ぶことで、お金が増えるプロセスを実感してください。

第6回

プレジデントセミナー

平成31年

3月 9日(土)

14:00~15:30



学長
田上 博司

2045年AIの光と影 - シンギュラリティは本当に起きるのか?

最近にわかに「2045年問題」が取り沙汰されています。世間では2045年にAIの知能が人間を上回って、これまで人間がやっていた仕事がほとんどAIに取って代わられることだと理解されているようですが、問題はそんなに易しいものではありません。2045年問題を唱えたレイ・カーツワイルは、人工知能が人間の能力を上回るのは2029年ごろで、2045年にはシンギュラリティ(技術的特異点)に至る知能の土台ができて上がっていると述べているのです。シンギュラリティとは何か、それが起きるとどうなるのか、最新の科学者や情報学者の説をもとにその正体を考察してみようと思います。

参加申込書

講座のお申し込みはFAXまたはホームページ・E-mailでお願いします

FAX 06-6654-5580

QRコードで阪南大学HPから
講座のお申し込みができます。



e-mail harukas@office.hannan-u.ac.jp

参加希望日に○を記入してください

実施日	テーマ	講師	参加希望日
第1回 10月20日(土)	観光に向き合うためのガバナンスを考える	国際観光学部 森重 昌之	
第2回 11月24日(土)	2020を前に、オリンピックと日本のスポーツを考えよう	流通学部 加藤 清孝	
第3回 12月 1日(土)	映像ジャーナリズムの可能性	国際コミュニケーション学部 坪井 兵輔	
第4回 1月12日(土)	トランプ政権と中小企業・ベンチャー	経済学部 浅野 敬一	
第5回 2月 9日(土)	現代ビジネスにおける投資行動と価値評価	経営情報学部 中條 良美	
第6回 3月 9日(土)	2045年AIの光と影	学長 田上 博司	

講師プロフィール

森重 昌之	出身校：北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程修了、博士（観光学） 研究テーマ：観光まちづくり、観光ガバナンス 主要業績：『地域創造のための観光マネジメント講座』学芸出版社、2016年（共著）／『観光による地域社会の再生』現代図書、2014年（単著・観光学術学会平成27年度教育啓蒙著作賞受賞）／『地域資源を守っていかすエコツーリズム』講談社、2011年（共編著・日本図書館協会選定図書）
加藤 清孝	出身校：University of Connecticut Ph.D（スポーツマネジメント） 研究テーマ：スポーツ団体の組織行動、リーダーシップ 主要業績：『実践から読み解くスポーツマネジメント』見学出版、2011年『スノーフリートたちによる被災者支援』スポーツ産業学研究、2011年『女性専用フィットネスクラブ選択へ影響を及ぼす要因の質的研究』スポーツマネジメント研究、2009年
坪井 兵輔	経歴：1995年より民間放送局にて20年近く報道カメラマン、ディレクターとして勤務。2003年から3年半、ドイツBERLIN支局特派員。2017年より阪南大学国際コミュニケーション学部准教授。 研究テーマ：ジャーナリズム論、コミュニケーション論 主要業績：日米同盟や里親制度のドキュメンタリー作品で関西写真記者協会協会賞、アジア太平洋放送連合賞、ギャラクシー賞、地方の時代賞、坂田記念ジャーナリズム賞、他。著書に石橋湛山記念早稲田ジャーナリズム大賞記念『日本のジャーナリズムはどう生きているか』、他。
浅野 敬一	経歴：中小企業事業団（現（独）中小企業基盤整備機構）、東京工業高等専門学校教授等を経て2016年より阪南大学経済学部教授。 研究テーマ：経済史（特に経済や社会における中小企業やベンチャーの役割） 主要業績：『三重構造—中小企業政策の展開と“ベンチャー”』谷口明丈・須藤功編『現代アメリカ経済史—「問題大団」の出現』有斐閣2017年、『戦後中小企業政策における組織化政策の変容—商工協同組合法改正問題を巡る議論を中心に—』『市場史研究』32号、2013年ほか。
中條 良美	出身校：名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了 博士（経済学、名古屋大学） 研究テーマ：会計情報と株価の関連 主要業績：『企業による環境関連投資と財務情報』『阪南論集 社会科学編』第51巻第3号、pp.253-262、2016年。『財務情報にみる経営者心理』伊田昌弘監修『経営と情報の深化と融合』第7章、pp.105-120、税務経理協会、2014年。Yoshimi Chujo and Atsushi Shiiba "Optimal Disclosure Policy for Supplier Firms," Proceedings of the eighth Accounting Research Workshop (University of Basle), V1b, 2013.2006年 日本経営分析学会学会賞受賞。
田上 博司	出身校：神戸大学経営学部経営学科 研究テーマ：マルチメディア・コミュニケーション・現実・仮想現実間インタラクションに関する研究 主要業績：『マルチメディア情報学概論』二瓶社、2006年／『デジタルコミュニケーション』見洋書房、2007年／『経営と情報の深化と融合』税務経理協会、2014年

フリガナ			
氏名			
所属			
住所	〒 -		
電話番号		FAX	
e-mail			

＜申込方法＞

事前に参加申込が必要になります。

郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・電話番号をご記入のうえ、FAXまたはe-mailのいずれかで10月23日（金）必着でお申し込みください。お申込後、受講票をお送りさせていただきます。 ※定員になり次第締め切らせていただきます。

【個人情報の取扱いについて】この申込書において知り得た個人情報はこの講座、または本学からのご案内に関する以外に利用いたしません。ただし、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第53号）の適用がある場合にはこの限りではありません。

問い合わせ先

阪南大学あべのハルカスキャンパス公開講座係

TEL.06-6654-5570

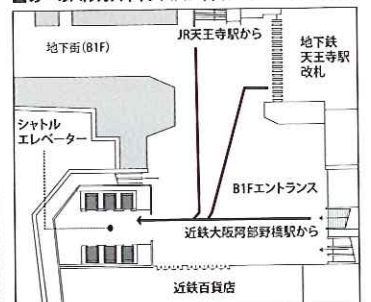
e-mail: harukas@office.hannan-u.ac.jp URL: <http://www.hannan-u.ac.jp/>

〒580-8502 大阪府松原市天美東5-4-33

会場の駐車場は利用出来ませんので公共交通機関をご利用ください。

会場はあべのハルカスキャンパス 23階になります
本キャンパス（天美東）ではありませんのでご注意ください

■あべのハルカスキャンパスシャトルエレベーター案内図



■17階フロア（低層用エレベーター乗換図）

